

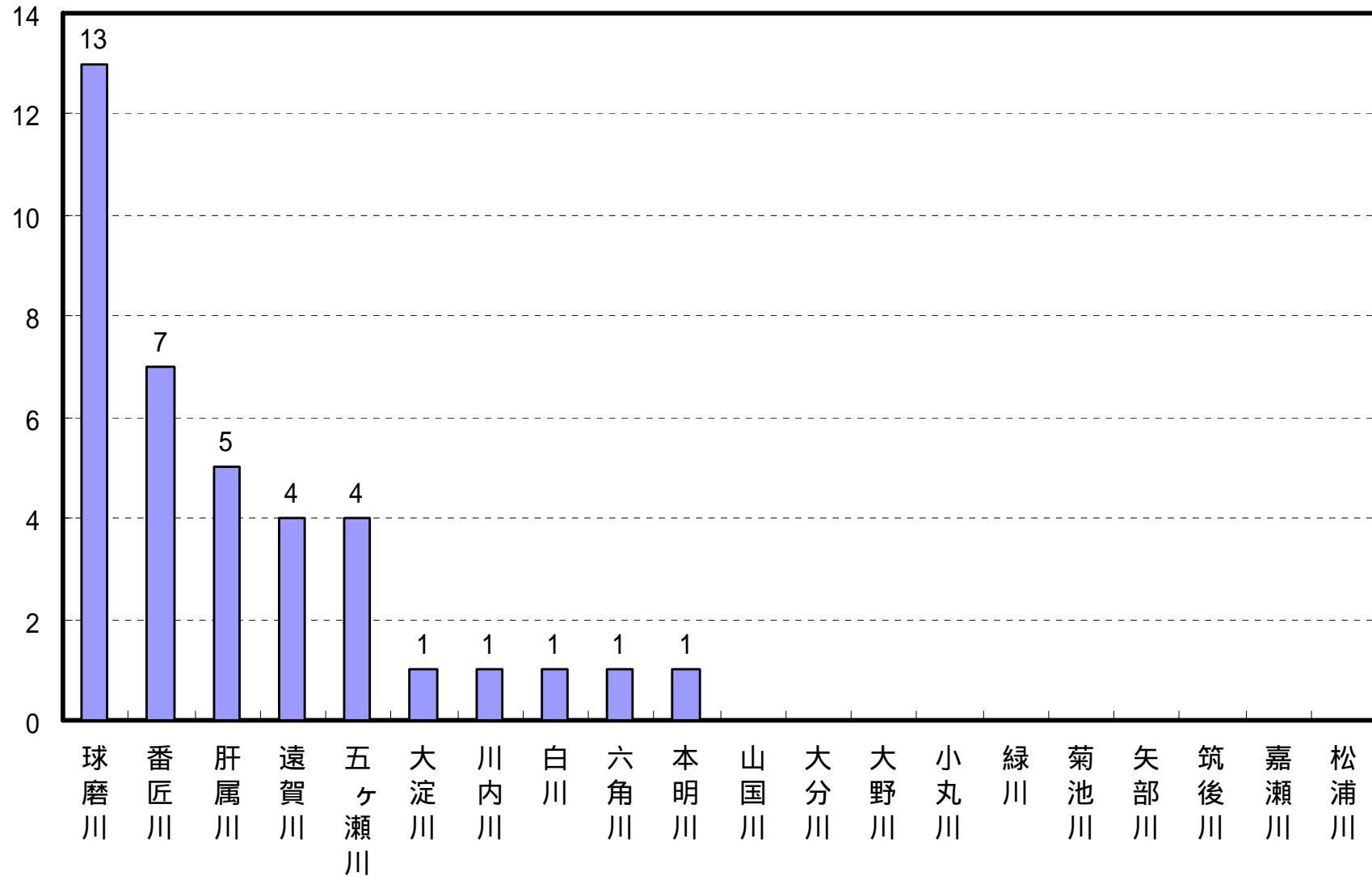
第9回ダムによらない治水を検討する場 説明資料

(現況及び「直ちに実施する対策」実施後の状況について)

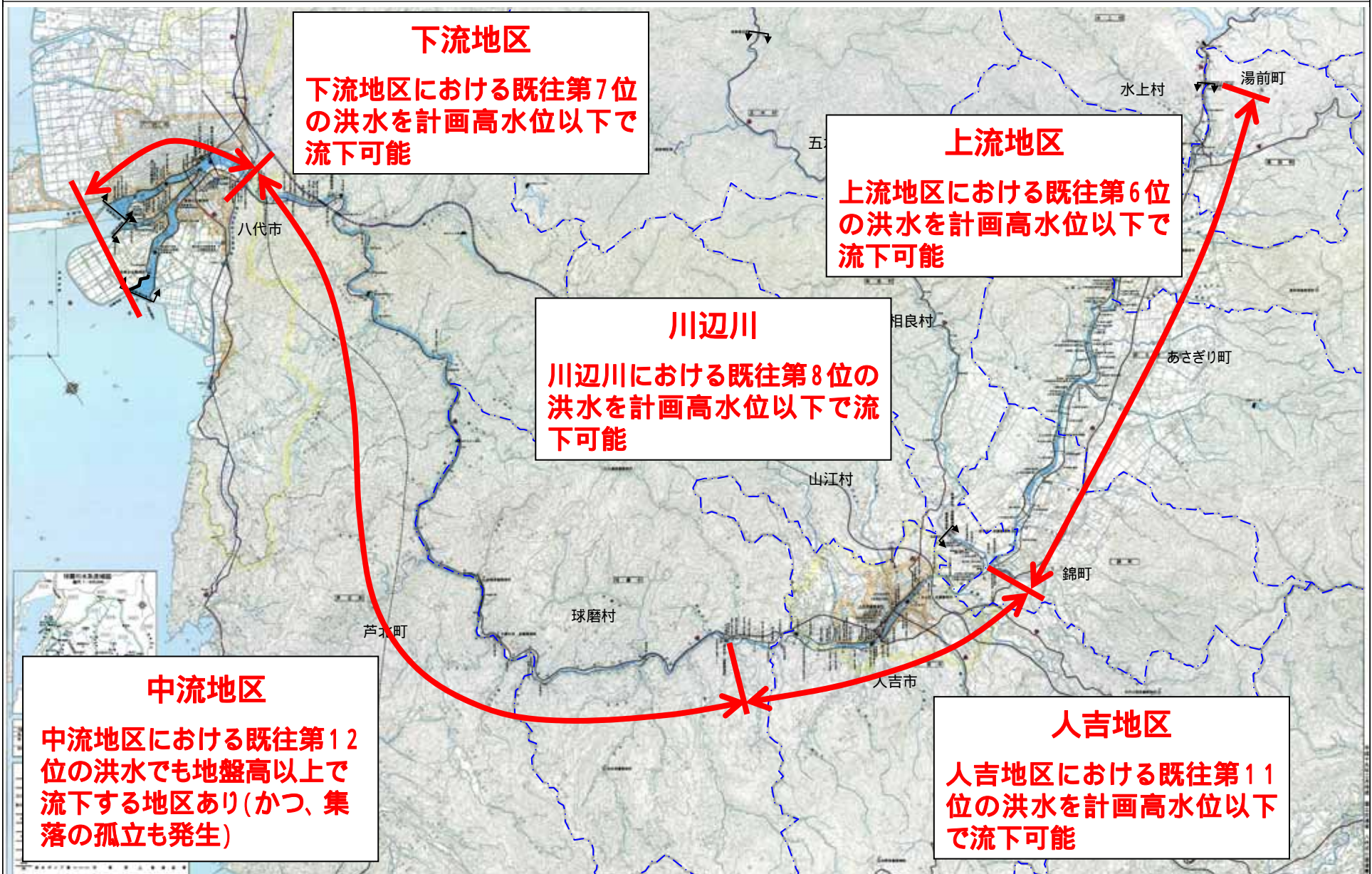
平成23年9月5日

国土交通省 九州地方整備局

計画高水位-1mを超えた出水回数(過去30年間、基準地点対象)



松浦川は基準地点の松浦橋観測所が潮位の影響を受けるため除外

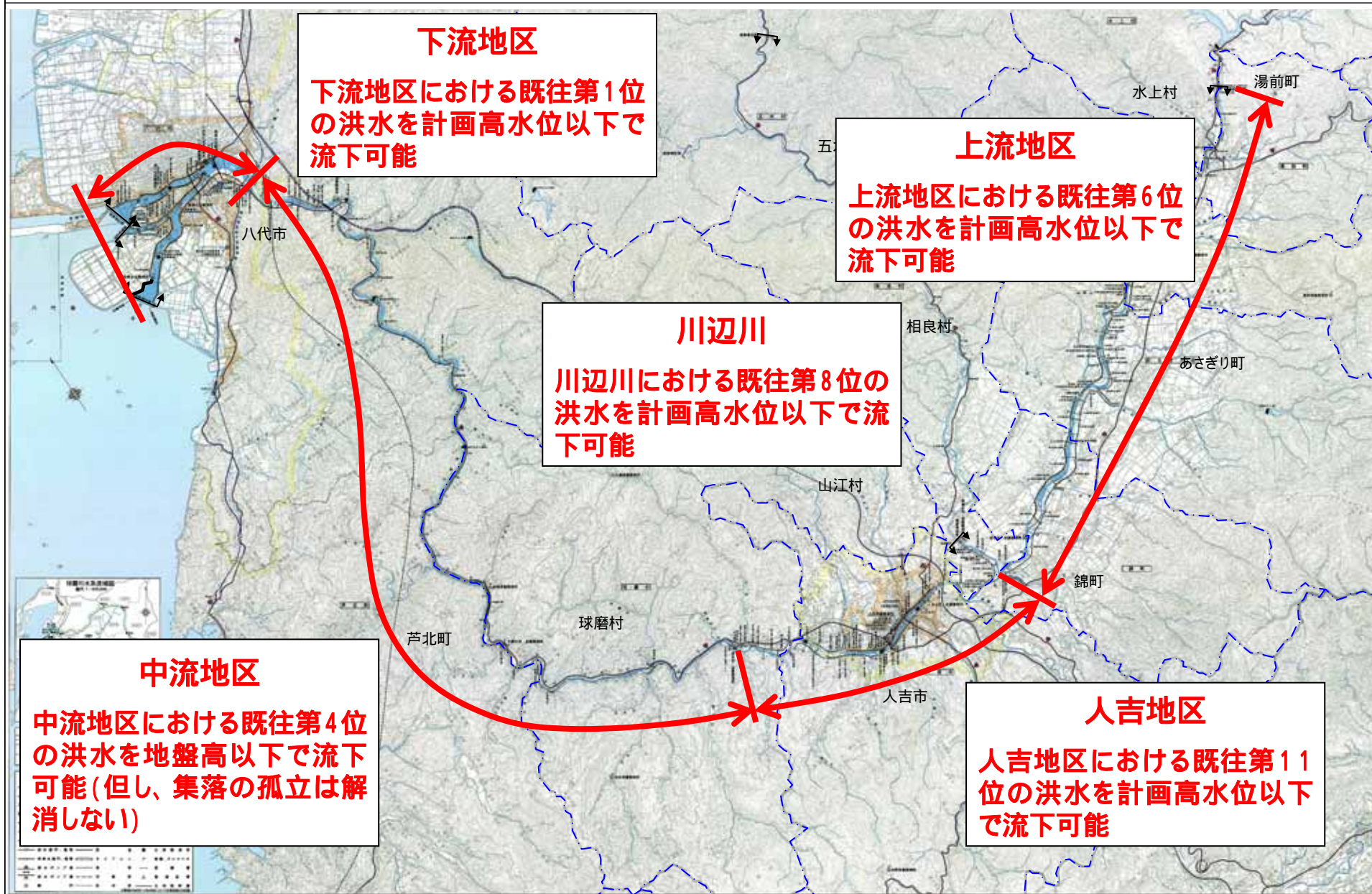


対象洪水の選定にあたっては、S28～H21の57年間の洪水を対象として、人吉観測所における上位12洪水を対象に検討しています。各洪水により雨の降り方が異なるため、既往洪水の順位は地区毎に異なる場合があります。下流地区の堤防の幅(断面)が足りない箇所は、所要の断面が確保出来る高さまで堤防を下げたうえで評価しています。計算水位が計画高水位以上であっても、背後地の地盤高が高く危険性が少ない箇所や、田畑のみで家屋が無い箇所等については、評価の対象としていません。

表「現況」における各地点の既往1～12位の洪水の順位と洪水名

地区 地点 順位	下流地区		中流地区						人吉地区		上流地区		川辺川	
	八代市萩原	八代市古麓	八代市坂本町大門 [対策実施中]	芦北町白石 [対策実施済]	芦北町漆口 [対策実施済]	国道219号 (神瀬)	球磨村淋 [対策実施済]	県道一勝地神瀬線 (一勝地)	人吉市薩摩瀬	人吉市九日町	あさぎり町深田	多良木町黒肥地	相良村柳瀬	相良村永江
第1位	S40.7	S40.7	S40.7	S40.7	S40.7	S40.7	S40.7	S40.7	S40.7	S57.7	S57.7	S46.8	S57.7	S40.7
第2位	S57.7	S57.7	S46.8	S57.7	S57.7	S57.7	S57.7	S57.7	S57.7	S40.7	H5.8	S40.7	S40.7	S57.7
第3位	S46.8	S46.8	S57.7	S46.8	S46.8	S46.8	S46.8	S46.8	S46.8	S46.8	S40.7	H20.6	H17.9	H17.9
第4位	H20.6	H20.6	H20.6	H7.7	H7.7	H7.7	H7.7	H7.7	H7.7	H17.9	S46.8	H16.8	S47.7	S47.7
第5位	H7.7	H7.7	H7.7	H20.6	H20.6	H20.6	H20.6	H20.6	H17.9	H7.7	H20.6	S57.7	S46.8	S46.8
第6位	H18.7	H18.7	H18.7	H18.7	H18.7	H18.7	H18.7	H18.7	H20.6	H16.8	H7.7	H17.9	H16.8	H16.8
第7位	H5.8	H17.9	H5.8	H17.9	H17.9	H17.9	H17.9	H17.9	S47.7	S47.7	H16.8	H7.7	H7.7	H7.7
第8位	H17.9	H5.8	H17.9	H5.8	H5.8	H5.8	H5.8	H5.8	H16.8	H20.6	H17.9	H5.8	H20.6	H20.6
第9位	S47.7	H8.7	H8.7	H16.8	H16.8	H16.8	H16.8	H16.8	S54.7	S54.7	H18.7	H18.7	H8.7	H8.7
第10位	H8.7	S47.7	S54.7	S54.7	S54.7	S54.7	S54.7	S54.7	H18.7	H5.8	S54.7	S47.7	H18.7	H18.7
第11位	H16.8	H16.8	H16.8	H8.7	H8.7	H8.7	S47.7	S47.7	H5.8	H8.7	S47.7	S54.7	S54.7	S54.7
第12位	S54.7	S54.7	S47.7	S47.7	S47.7	S47.7	H8.7	H8.7	H8.7	H18.7	H8.7	H8.7	H5.8	H5.8

対象洪水の選定にあたっては、S28～H21の57年間の洪水を対象として、人吉観測所における上位12洪水を対象に検討しています。
 下流地区の堤防の幅(断面)が足りない箇所は、所要の断面が確保出来る高さまで堤防を下げたうえで評価しています。
 中流地区の国道及び県道を除く各地点については、宅地嵩上げ及び輪中堤事業の現在の実施状況について示しています。
 黄色着色は計画高水位(中流地区以外及び中流地区の築堤箇所)または地盤高(中流地区の築堤箇所以外)以下で流下可能な既往洪水です。

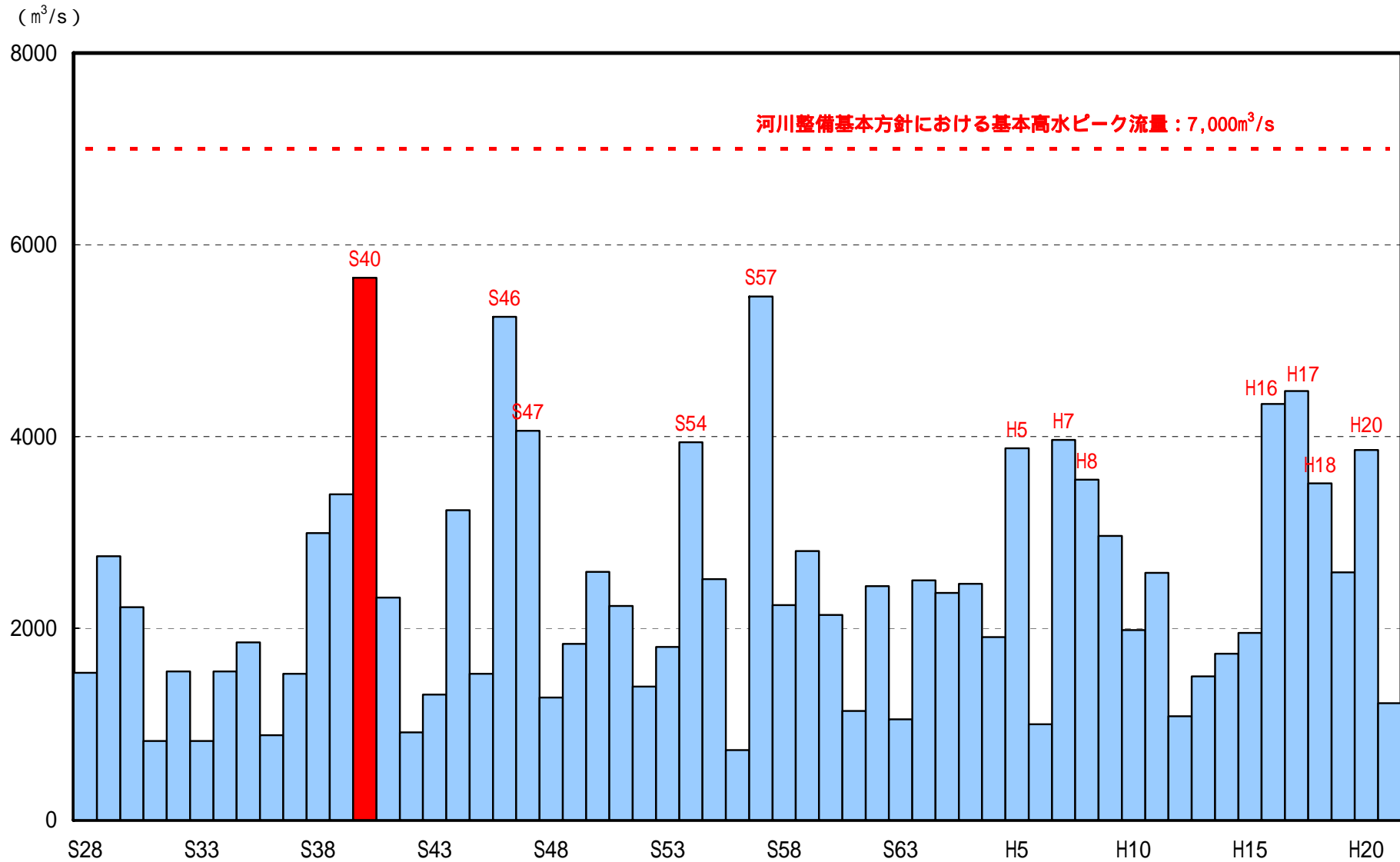


対象洪水の選定にあたっては、S28～H21の57年間の洪水を対象として、人吉観測所における上位12洪水を対象に検討しています。各洪水により雨の降り方が異なるため、既往洪水の順位は地区毎に異なる場合があります。計算水位が計画高水位以上であっても、背後地の地盤高が高く危険性が少ない箇所や、田畑のみで家屋が無い箇所等については、評価の対象としていません。

表 「直ちに実施する対策」後における各地点の既往1～12位の洪水の順位と洪水名

地区 地点	下流地区		中流地区						人吉地区		上流地区		川辺川	
	八代市 萩原	八代市 古麓	八代市 坂本町 大門 [対策実施済]	芦北町 白石 [対策実施済]	芦北町 漆口 [対策実施済]	国道219号 (神瀬)	球磨村 淋 [対策実施済]	県道一勝 地神瀬線 (一勝地)	人吉市 薩摩瀬	人吉市 九日町	あさぎり町 深田	多良木町 黒肥地	相良村 柳瀬	相良村 永江
第1位	S40.7	S40.7	S40.7	S40.7	S40.7	S40.7	S40.7	S40.7	S57.7	S57.7	H5.8	S46.8	S57.7	S40.7
第2位	S57.7	S57.7	S57.7	S57.7	S57.7	S57.7	S57.7	S57.7	S40.7	S40.7	S57.7	H17.9	S40.7	S57.7
第3位	H20.6	H20.6	H20.6	S46.8	S46.8	S46.8	S46.8	S46.8	S46.8	S46.8	S40.7	S40.7	H17.9	H17.9
第4位	S46.8	S46.8	S46.8	H7.7	H7.7	H7.7	H7.7	H7.7	H7.7	H17.9	H20.6	H20.6	S47.7	S47.7
第5位	H7.7	H7.7	H7.7	H20.6	H20.6	H20.6	H20.6	H20.6	H17.9	H7.7	S46.8	H5.8	S46.8	S46.8
第6位	H18.7	H18.7	H18.7	H18.7	H18.7	H18.7	H18.7	H18.7	S54.7	S54.7	S54.7	S57.7	H16.8	H16.8
第7位	H5.8	H5.8	H5.8	H17.9	H17.9	H17.9	H17.9	H17.9	H20.6	H16.8	H17.9	H16.8	H7.7	H7.7
第8位	H17.9	H17.9	H17.9	H5.8	H5.8	H5.8	H5.8	H5.8	S47.7	S47.7	H7.7	H7.7	H20.6	H20.6
第9位	S54.7	S54.7	S54.7	S54.7	S54.7	S54.7	S54.7	S54.7	H16.8	H20.6	H18.7	H18.7	H8.7	H8.7
第10位	H8.7	H8.7	H8.7	H16.8	H16.8	H8.7	H16.8	H16.8	H18.7	H5.8	H16.8	S54.7	H18.7	H18.7
第11位	S47.7	S47.7	S47.7	H8.7	H8.7	H16.8	H8.7	H8.7	H5.8	H8.7	H8.7	S47.7	S54.7	S54.7
第12位	H16.8	H16.8	H16.8	S47.7	S47.7	S47.7	S47.7	S47.7	H8.7	H18.7	S47.7	H8.7	H5.8	H5.8

対象洪水の選定にあたっては、S28～H21の57年間の洪水を対象として、人吉観測所における上位12洪水を対象に検討しています。
 中流地区の国道及び県道を除く各箇所については、宅地嵩上げ及び輪中堤事業の「直ちに実施する対策」実施後の実施状況について示しています。
 黄色着色は計画高水位(中流地区以外及び中流地区の築堤箇所)または地盤高(中流地区の築堤箇所以外)以下で流下可能な既往洪水です。



上記グラフの河川流量は、市房ダムの操作をせず、人吉地区より上流で氾濫が生じなかった場合の流量を示しています。

「治水安全度・地域防災力を向上させるため直ちに実施する対策」を実施

参考

第8回ダムによらない治水を検討する場合会議資料より抜粋

